



2025 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エヌ・エー
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡 村 信 悟
(コード番号：2432 東証プライム市場)
問合せ先 取締役兼執行役員 渡 辺 圭 吾
経営企画本部 本部長
電話番号 03-6758-7200

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、今後の持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、改善に向けた取り組み方針の骨子を策定しましたのでお知らせします。詳細については、添付資料をご参照ください。

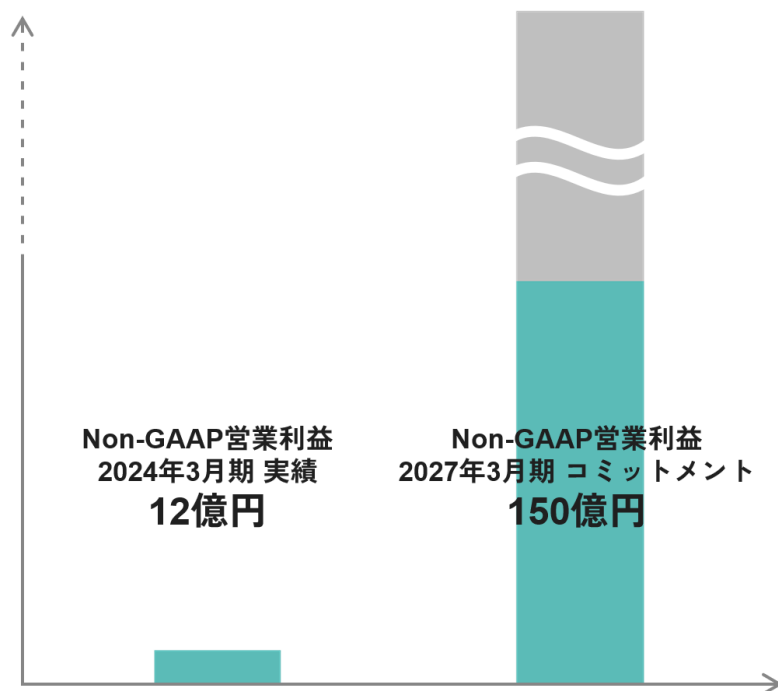
なお、具体的な施策や進捗につきましては、今後、2026 年 3 月期通期決算発表にかけて適時適切に公表・報告してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ディー・エヌ・エー(<https://dena.com/jp/ir/>)
IR 部 (ir@dena.com)

2027年3月期までの3か年の重点（2024年5月8日公表 2024年3月期 通期 決算説明会資料より）

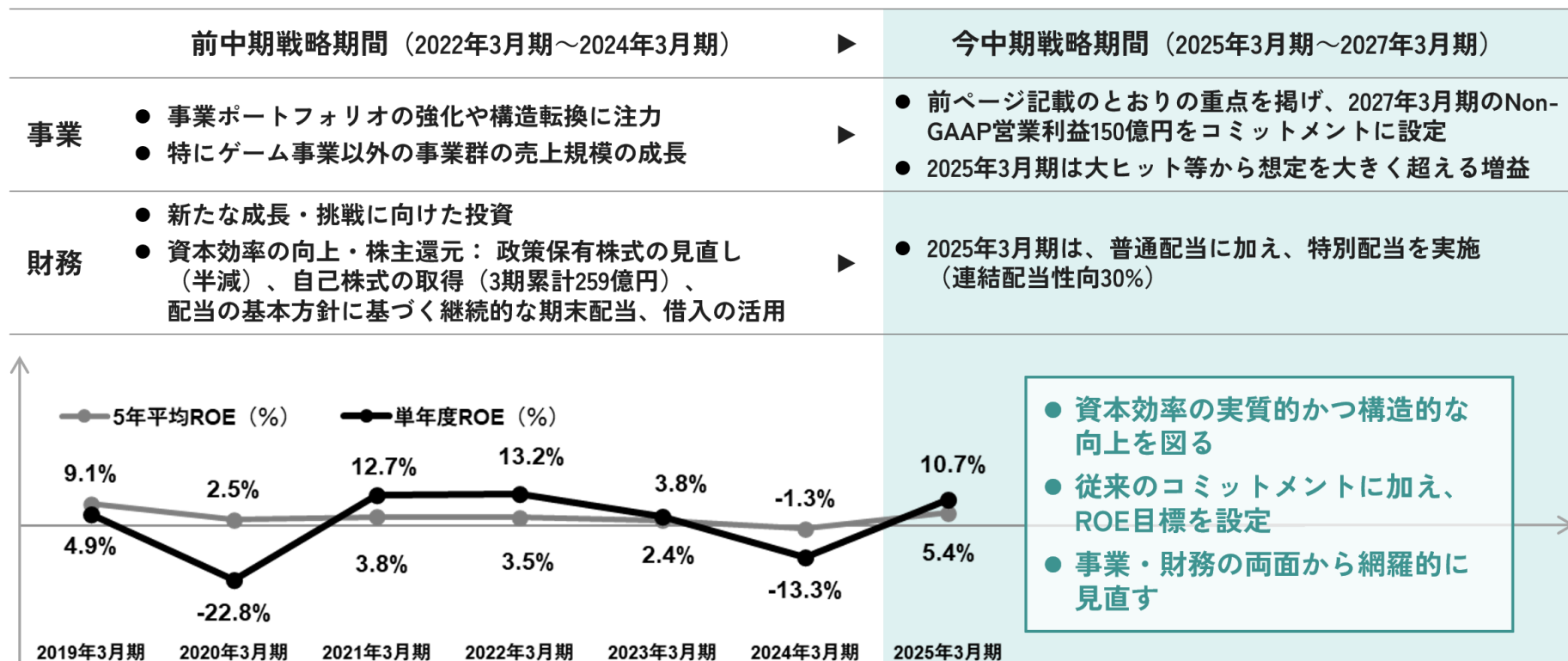
- 構造的・継続的に成長する事業群を形成し、各事業とも有意な利益貢献をする構造を目指す
- 資本コストを意識し、資本効率の向上・ROEの向上を重視



- 2027年3月期までの3か年、每期増益を図り、2027年3月期のNon-GAAP営業利益は150億円をコミットメントとする
- ゲームの大ヒット等は合理的な見通しが難しく、コミットメントに対してはアップサイドの位置づけ
- 特に、2024年3月期までの3期で成長への基盤を整えてきたスポーツ・まち、及び、メディカルの成長に期待
- 従来掲げてきたヘルスケア・メディカルでの年間50億円、スポーツ・まちで年間30億円水準の利益貢献は、2027年3月期までの3年の間での達成を目指す
- 2027年3月期以降の継続的な成長に向け、各事業とも構造的な強さの形成を重視

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

- 中期戦略の進捗や業績推移、また、資本市場の声・要請を踏まえ、資本の在り方の見直しを進める
- 業績のボラティリティや安定して一定水準以上のROEを確保する構造の担保といったこれまでの課題への対応を進める



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

- 事業・財務の両面から網羅的にアプローチし、目標達成に向け、以下に掲げる取り組みを推進する
- 2026年3月期通期決算発表にかけて具体的な施策や進捗について適時適切に公表・報告予定

-
- ROE目標は、段階的に引き上げることを目指す
 - まずは、今中期戦略期間中（2025年3月期～2027年3月期）をめどに、バランスシートマネジメントを強化し、安定して8%以上のROEを出せる構造を早期に確立する
-

事業

- 2027年3月期Non-GAAP営業利益150億円のコミットメントを着実に達成する
 - ゲームの大ヒット等合理的な見通しが難しい事柄はアップサイドの位置づけ
 - 2027年3月期以降の長期的な利益水準の一層の向上を目指すにあたり、
 - 引き続き、各事業とも構造的な強さの形成を重視するとともに、重要な事業環境変化（AIの潮流）を捉えた事業の発展に向けた取り組みを加速する
 - 並行して、中長期の持続的な成長を実現するための事業ポートフォリオ・事業創造につき、検討を具体化する
-

財務

- 資本効率の向上を図るため、バランスシートマネジメントを強化
 - あわせて、自己株式取得も含めた株主還元の方針や水準について再検討を行う
 - 事業戦略や事業ポートフォリオ戦略を踏まえ、収益性の観点から成長投資を精査し、投資配分を行う
-